

市制60周年記念
冬期特別展 開催

砂浜の発見

—漂着物の世界—

平成4年12月12日(土)
~平成5年1月30日(土)

■博物館では一昨年から「漂着物を拾う会」を開いて、平塚海岸に打ち上がる物を調べてきました。この特別展ではそうして集まったものを一同に展示して、みなさんに見て頂きたいと思います。身近な海辺でいったいどんな物が見つかったのでしょうか。そのいくつかを紹介すると……

キンセンガニ 平塚でいちばんよく見つかる種類で、砂浜の海岸に多く、海底を歩くように泳ぐように移動するカニ。

アマモ 「竜宮の乙姫の元結いの切りはずし」という長い別名を持つ海中に生える花の咲く植物。

ツメタガイ 大きな巻き貝。二枚貝に穴を開けて中身を食べる肉食。穴を開けられた貝もよく見つかる。

プラスチックの小粒 いま話題の人工物。水鳥が飲み込んでしまい被害が出るのが心配されている。

シマメノウフネガイ 外国生まれの貝で、20年くらい前から増え始めた。神奈川県は全

国で初めて見つかった県。

つぶれたアルミ缶 たくさん落ちている空き缶もよく観察してみると面白い。スチール缶とアルミ缶では腐食のしかたが違っている。

■このように浜で「拾って集めて考える」自然の楽しみ方を「ビーチコーミング」といいます。今回の特別展では、展示と図録でビーチコーミングの面白さをみなさんに伝えたいと考えています。

記念行事

●記念講演会 「海辺の自然観察」

日時：1月23日(土) 午後2時～4時

講師：林 公義氏(横須賀市自然博物館)

会場：博物館講堂(入場自由)

●漂着物を拾う会

「平塚海岸で拾い物をしよう」

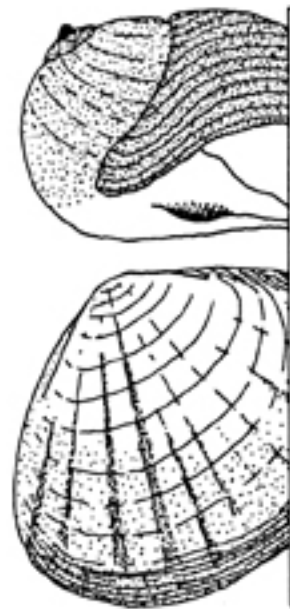
日時：12月13日(日)

午前9時～12時 雨天中止

集合：午前9時 平塚駅南口(参加自由)

平塚市博物館

刊行図書



最新刊

冬期特別展図録

砂浜の発見

—ビーチコーミング入門—

B5判 予価 820円